

I 調査結果の概要

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は3.2%減少 －

生乳生産量は747万4,309 tで、前年に比べ24万6,147 t (3.2%) 減少した。これは、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により東北地方を中心に生乳生産量が減少したこと等による。

図1 生乳生産量の推移（全国）

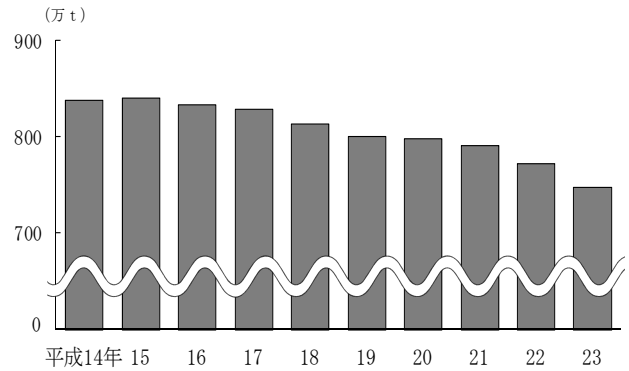


表1 生乳生産量

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国計	北海道	都府県	全国計	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
平成22年	7,720,456	3,901,651	3,818,805	97.6	99.2	96.0
23	7,474,309	3,876,030	3,598,279	96.8	99.3	94.2

(2) 全国農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは51.9% －

全国農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が387万6,030 t（全国に占める割合51.9%）で最も多く、次いで関東が106万3,625 t（同14.2%）、九州が65万6,092 t（同8.8%）の順となっている。

図2 生乳生産量シェア（全国農業地域別）

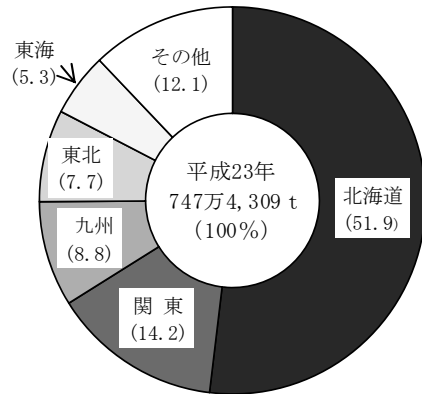


表2 生乳生産量（全国農業地域別）

年次	単位：t										
	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成22年	3,901,651	645,353	110,246	1,135,672	136,623	411,506	215,949	314,515	144,757	676,215	27,969
23	3,876,030	573,769	102,499	1,063,625	133,428	399,017	202,875	301,463	138,151	656,092	27,360
対前年比 (%)	99.3	88.9	93.0	93.7	97.7	97.0	93.9	95.9	95.4	97.0	97.8

(3) 用途別処理量

－ 牛乳等向け処理量は2.2%減少 －

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は405万8,062tで、前年に比べて9万1,536t(2.2%)減少し、乳製品向け処理量は335万909tで、前年に比べて14万7,673t(4.2%)減少した。

図3 牛乳等向け処理量及び乳製品向け処理量の推移(全国)

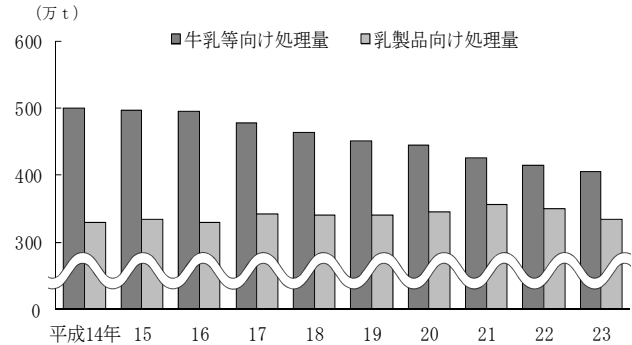


表3 生乳用途別処理量(全国)

単位: t

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	乳製品向け		その他向け	欠減
			業務用向け			
平成22年	7,720,456	4,149,598	316,382	3,498,582	72,276	19,363
23	7,474,309	4,058,062	298,192	3,350,909	65,338	13,022
対前年比(%)	96.8	97.8	94.3	95.8	90.4	67.3

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

－ 牛乳生産量は0.2%減少 －

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は306万4,197k1で、前年に比べ5,071k1(0.2%)減少し、加工乳・成分調整牛乳生産量は58万8,898k1で、前年に比べ8万8,772k1(13.1%)減少した。

図4 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳生産量の推移(全国)

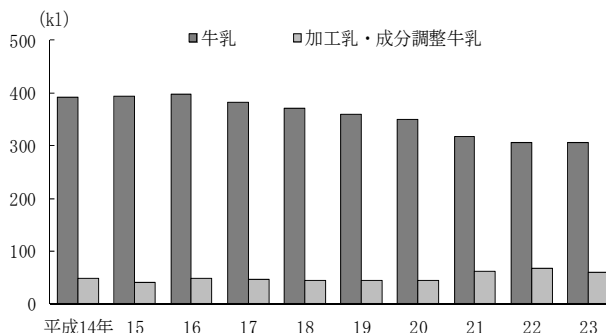


表4 飲用牛乳等生産量(全国)

単位:k1

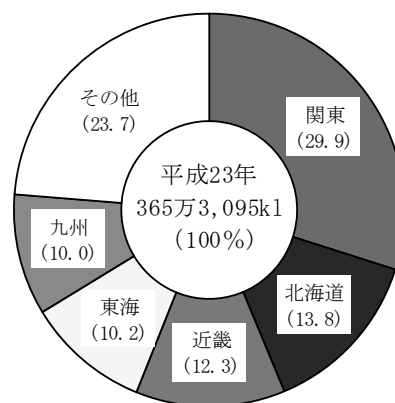
年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	業務用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
平成22年	3,746,938	3,069,268	289,226	677,670	25,527	435,915
23	3,653,095	3,064,197	281,733	588,898	31,153	386,827
対前年比(%)	97.5	99.8	97.4	86.9	122.0	88.7

(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

－ 関東の飲用牛乳等生産量シェアは29.9% －

図5 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

全国農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が109万3,196k1(全国に占める割合29.9%)で最も多く、次いで北海道が50万4,755k1(同13.8%)、近畿が44万7,865k1(同12.3%)の順となっている。



注: 割合の合計が100%とならないのは、四捨五入によるものである。

表5 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

単位:k1

年次	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成22年	461,743	277,855	106,358	1,155,314	126,602	372,967	452,854	289,964	94,759	375,854	32,668
23	504,755	240,869	106,874	1,093,196	119,845	374,110	447,865	284,333	84,448	365,985	30,815
対前年比(%)	109.3	86.7	100.5	94.6	94.7	100.3	98.9	98.1	89.1	97.4	94.3

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

－ 乳飲料生産量は5.7%増加 －

乳飲料の生産量は127万8,500kl、はっ酵乳の生産量は84万2,820klで、前年に比べそれぞれ6万8,554kl(5.7%)、1,832kl(0.2%)増加し、乳酸菌飲料の生産量は17万8,357klで、前年に比べ5,478kl(3.0%)減少した。

図6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移(全国)

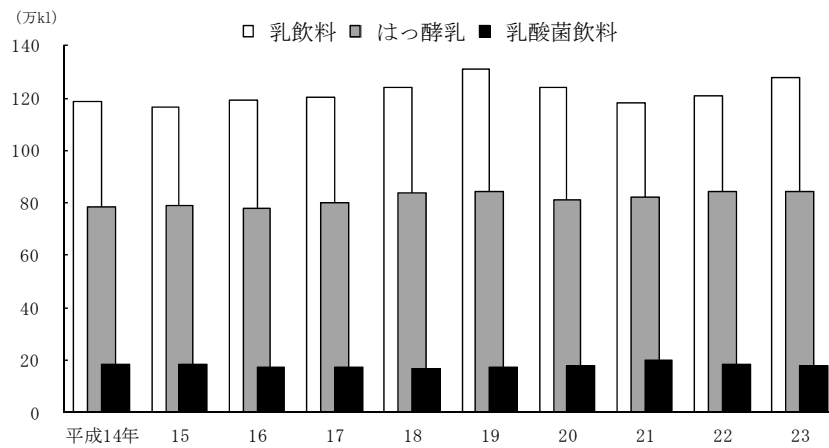


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量(全国)

単位：kl			
年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平成22年	1,209,946	840,988	183,835
23	1,278,500	842,820	178,357
対前年比(%)	105.7	100.2	97.0

3 乳製品生産量

－ チーズ及びクリームは増加、脱脂粉乳及びバターは減少 －

主な乳製品の生産量をみると、チーズは13万6,249t、クリームは11万1,681tで、前年に比べそれぞれ1万1,285t(9.0%)、4,240t(3.9%)増加した。

一方、脱脂粉乳は13万7,141t、バターは6万2,845tで、前年に比べそれぞれ1万8,484t(11.9%)、1万776t(14.6%)減少した。

図7 主要乳製品の生産量の推移(全国)

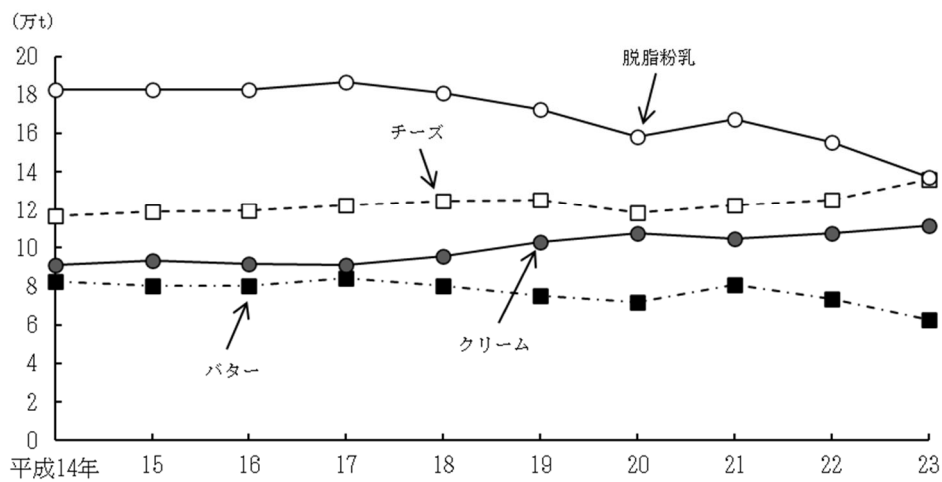


表7 乳製品生産量(全国)

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	バター	クリーム
	t	t	t	t	t
平成22年	13,250	155,625	32,942	73,621	107,441
23	14,302	137,141	27,559	62,845	111,681
対前年比(%)	107.9	88.1	83.7	85.4	103.9

年次	チーズ		加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	アイス クリーム
	t	直接消費用 ナチュラルチーズ t				
平成22年	124,964	19,176	36,314	921	4,498	130,589
23	136,249	25,342	36,463	820	4,791	137,072
対前年比(%)	109.0	132.2	100.4	89.0	106.5	105.0

4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

ー 牛乳を処理した工場数は576工場 ー

平成23年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場数は628工場であった。

そのうち生乳を処理した工場数は576工場であり、2t未満の牛乳処理場・乳製品工場が310工場、40t以上が118工場となっている。

図8 牛乳乳製品の製造・処理別牛乳処理場・乳製品工場数の推移（全国）（12月31日現在）

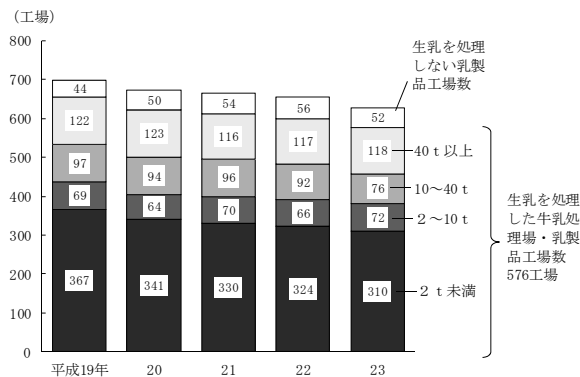


表8 牛乳処理場・乳製品工場数（全国）

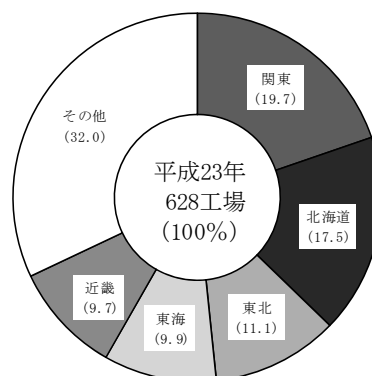
年次	計	経営組織			12月の生乳処理量規模（1日当たり）						生乳を処理しない乳製品工場
		会社	農業協同組合	個人・その他	2t未満	2～4	4～10	10～20	20～40	40t以上	
平成22年	655	464	49	142	324	34	32	45	47	117	56
23	628	462	44	122	310	34	38	30	46	118	52
対前年差	△27	△2	△5	△20	△14	0	6	△15	△1	1	△4

(2) 全国農業地域別処理場・工場数

ー 関東の処理場・工場シェアは19.7% ー

全国農業地域別の処理場・工場数をみると、関東が124工場（全国に占める割合19.7%）で最も多く、次いで北海道が110工場（同17.5%）、東北が70工場（同11.1%）の順となっている。

図9 処理場・工場シェア（全国農業地域別）



注：割合の合計が100%とならないのは、四捨五入によるものである。

表9 処理場・工場数（全国農業地域別）

年次	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成22年	111	78	51	127	33	67	64	45	11	57	11
23	110	70	50	124	33	62	61	44	10	53	11
対前年差	△1	△8	△1	△3	0	△5	△3	△1	△1	△4	0

(3) 製造品目別処理場・工場数

ー 牛乳を製造した工場は446工場 ー

平成23年1月から12月に飲用牛乳等及び乳飲料を製造した牛乳処理場・乳製品工場数は447工場であり、うち牛乳を製造した工場数は446工場、乳飲料を製造した工場数は268工場である。

また、乳製品を製造した工場数は296工場であり、うち乳脂肪分8%以上のアイスクリームを製造した工場数は135工場、チーズを製造した工場数は132工場となっている。

表10 飲用牛乳等及び乳飲料を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料
	計	牛乳	業務用		加工乳・成分調整牛乳	成分調整牛乳		
			学校給食用	業務用		業務用	成分調整牛乳	
平成22年	472	471	165	238	159	15	69	277
23	447	446	169	229	153	13	68	268
対前年差	△ 25	△ 25	4	△ 9	△ 6	△ 2	△ 1	△ 9

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。

表11 乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	乳製品											乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	計	粉乳			バター	クリーム	チーズ	れん乳				
		全粉乳	脱脂粉乳	調整粉乳				直接消費用ナチュラルチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	
平成22年	299	14	33	6	70	85	136	119	25	9	13	132
23	296	14	32	5	70	81	132	116	25	7	12	135
対前年差	△ 3	0	△ 1	△ 1	0	△ 4	△ 4	△ 3	0	△ 2	△ 1	3

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。

<参考>

— 乳用牛の飼養動向 —

畜産統計調査（各年2月1日現在）

平成24年2月1日現在の乳用牛の飼養頭数は144万9千頭で、前年に比べ1万8千頭(1.2%)減少した。

図10 乳用牛の飼育戸数・頭数の推移

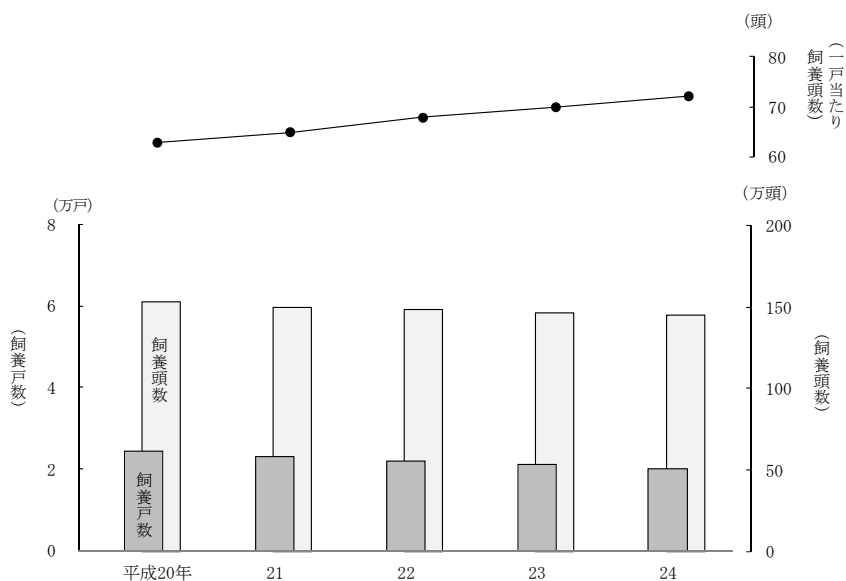


表12 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

区分	単位	平成20年	21	22	23	24 (概数)
飼養戸数	戸	24,400	23,100	21,900	21,000	20,100
飼養頭数	頭	1,533,000	1,500,000	1,484,000	1,467,000	1,449,000
うち搾乳牛	頭	861,500	848,000	829,700	804,700	812,700
1戸当たり飼養頭数	頭	62.8	64.9	67.8	69.9	72.1